

令和3年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第11号（3月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和4年2月17日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○3月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	並	-	-	
(温州みかん)	① そうか病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	② ハダニ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移(→)
(タネカキ)	① かいよう病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② ハダニ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移(↘)
マンガ	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
キャベツ	① 菌核病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② 黒腐病	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	③ コナガ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○3月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
レ タ ス	①	菌核病	(発生なし)並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	②	アブラムシ類	多	↑	多	平年の発生量の推移(↑)
	③	クロゲハナアザミウマ	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
か ぼ ち ゃ	①	うどんこ病	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	②	細菌病	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	③	アブラムシ類	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	④	タバココナジラミ	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
へ ご し ー せ ー た ー	①	ミナミキイロアザミウマ	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	②	タバココナジラミ	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移(→)
へ び し ー せ ー ま ー ん	①	ミナミキイロアザミウマ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移(→)
	②	タバココナジラミ	多	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
ト マ ト （ し せ ）	①	黄化葉巻病	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	②	うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	③	タバココナジラミ	やや多	↑	やや多	平年の発生量の推移(↑)
さ （ や い 張 ） げ ん	①	タバココナジラミ	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	②	ミナミキイロアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 宮古群島 病害虫発生予報 第11号（3月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和4年2月17日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○3月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・ イネヨトウ)	やや多	-	-	
マンゴー	① ハダニ類	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
ゴーヤー (施設)	① うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	② 斑点病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	③ ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	④ タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 八重山群島 病害虫発生予報 第11号（3月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和4年2月17日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○3月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠	
			2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)		
水 稲	①	スクミリンゴガイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）	
さ と う き び	①	メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・ イネヨトウ)	並	-	-		
マ ン ゴ ー	①	ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）	
か ぼ ち ゃ	①	うどんこ病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）	
		②	細菌病	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
		③	ハモグリバエ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（ ゴ ー 施 設 ヤ ー ）	①	斑点病	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）	

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	キクイムシ類	衰弱した枝、幹などから食入し、被害が進むと枯死させる。葉が黄化落葉したり、枝などから線香状の木くず（フラス）が見られたら、侵入部位まで枝を除去し、速やかに施設外に持ち出し処分する。また樹勢が低下することで本虫の加害を受けやすくなるので、樹勢維持に努める。
かぼちゃ	モザイク病	モザイク病が多発生している。 媒介虫の密度が低くても感染力は高いので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。 発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。 本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（2月19日～3月18日）

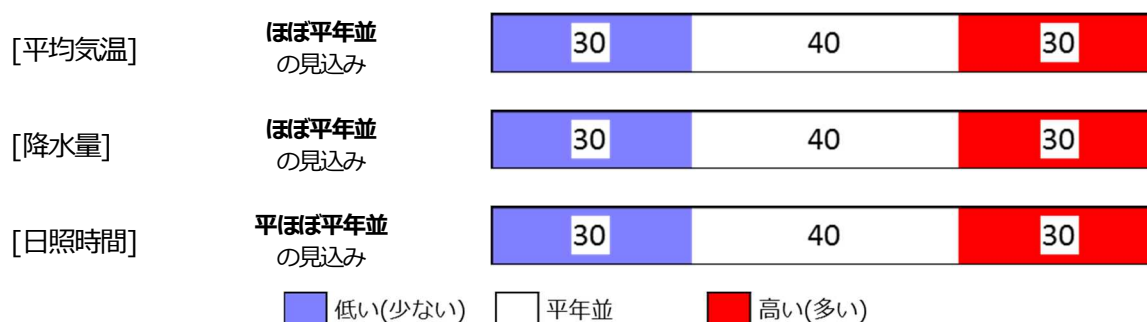
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 向こう1か月の平均気温はほぼ平年並ですが、1週目は低く、2週目は高く、期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。
- 向こう1か月の降水量と日照時間はほぼ平年並でしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

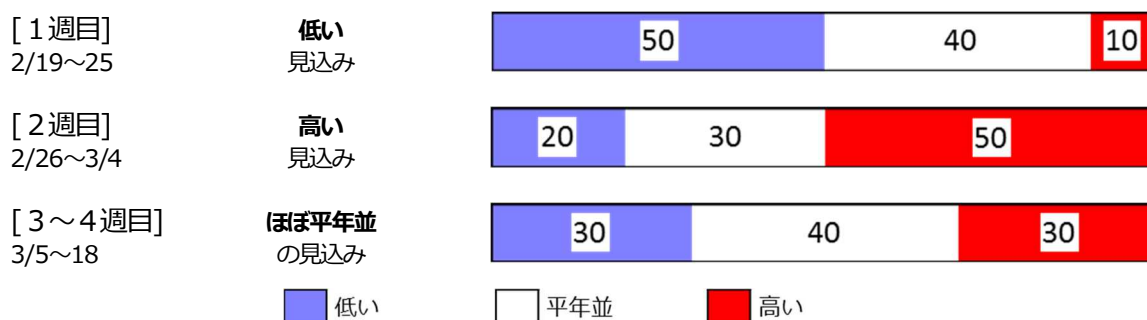


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.4～+0.6℃	平年比：82～118%	平年比：86～106%
那覇	18.0～19.0℃	90.3～148.5mm	86.9～106.1時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.6～+0.8℃	平年差：-0.8～+0.9℃	平年差：-0.4～+0.5℃
那覇	17.3～18.7℃	17.4～19.1℃	18.2～19.3℃

※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島の7地点平均値です。
 ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1991～2020年）の値から統計的に求めています。